

令和 6 年 7 月幹事会議事録

日時 令和 7 年 7 月 21 日(日) 10 時 00 分～12 時 30 分

場所 zoom 会議

出席者 谷、甘利、勝又、阿部、大谷、神戸、野口、山田、山根、佐久間

以上 10 名

1. 報告事項

(1) 学内状況 特になし

(2) 事業報告

1) 川越ツアー (神戸)

- ・ 6 月 23 日(日) 実施
- ・ 小雨の中での実施となったが、気温が低めで比較的過ごしやすかった。
- ・ 数人の当日キャンセルがあった。
- ・ 改札が 1 か所で待ち合わせしやすかった。
- ・ 昼食代と名札を分けて渡したため、若干手間取った。セットにして渡す工夫が必要であった。
- ・ タイムな時間設定が参加者に伝わっていなかった。事前にメーリングリストを作製し、細かな情報提供や、共有を図る事で解決できたと考えられる。
- ・ 浴衣の着付け体験を行うグループと、散策するグループに別れての行動となった。
- ・ 浴衣のグループは草履のため、前日から雨で地面のぬかるみに苦労した。集合場所についての配慮が必要であった。
- ・ 散策グループには 3 つの博物館回りが提示されたが、3 つを見るのは時間的に無理であり、結果的に街散策の時間が窮屈になったようだ。今回は街散策をメインにした行動計画とした方が良かったのでは、という意見があった。
- ・ ツアー途中で、別行動をしたいと主張する参加者が現れ、数名が途中離脱した。このような参加者への対応をどうするか、今後の課題として検討する。

2) 会員総会 (谷)

- ・ 7 月 7 日(日) 実施
- ・ 議決権を有する会員の出席は 14 名(スタジオ 9 名、オンライン 5 名)。それ以外に来賓 2 名がオンライン、ビデオ参加、留学生 5 名がスタジオ参加した。出席回答の 4 名の一般会員が欠席となり、残念であった。
- ・ オンライン参加者がスタジオ参加者より少なかったために、幹事会メンバーと全国会員との対話というスタジオ方式の利点が生かせず、むしろスタジオ参加者間の討論が出来ないという欠点が目立った。
- ・ 従来の 2 倍近い 82 名の会員が出欠連絡に回答し、そのうち 32 名は議案に賛成あるいは議長委任を明記してくれた。総会に対する認知度、関心は高まっていると評価できる。
- ・ 出欠連絡には会員の質問や意見(支援の会はなぜ学生ではなく保護者を主対象とするのか。幹事に一定の報償を支出しては、等)も記されており、これに適切に対応していくことが必要である。
- ・ 今後も現在の形で総会を続ける場合、魅力を UP させ、参加者を増やす工夫が不可欠。
- ・ 講演会の録画等を総会とセットにしてはどうかという案があった。

2) ISEP 留学生等閉講式 7 月 19 日 (谷)

- ・ 昨年と比較し、参加者が多かった。

- ・ 時間も短くして、学生の余興の時間はなくし、6 人の留学生のスピーチを軸に構成されていたが、参加者が私語を控えてそれを聞いており、充実した時間であった。

3) 歌舞伎鑑賞教室 7月20日 (谷)

- ・ 67 名(留学生 44 名、日本学生 9 名、同伴者 11 名、会員枠 3 名)が参加した
- ・ 予約 60 名分であったが、同伴者等の参加を増やすために不足の 7 名分のチケットを追加購入した。
- ・ 7 月 20 日は、実質的に夏休みが始まっており、学生の募集などで未経験のリスクへの懸念もあったが、60 名の学生が申し込み、53 名が参加費を支払い、その全員が当日出席し、ドタキャンはゼロであった。
- ・ 鑑賞後の茶話会には申込者のうち 7 名が参加しなかった。
- ・ JLC の菅長教授による事前の学習会が実施され、15 名が参加した。参加者は鑑賞に非常に役立ったと言っている。
- ・ 茶話会には、本公演に義太夫三味線方で出演された外語大卒業生の山下聡一郎氏がサプライズ登場してスピーチし、学生たちの質問に丁寧に答えてくれた。これもあり、茶話会はかつてなく充実した時間となった。
- ・ 会のイベントで欠席者を出さないための工夫について話し合った。
 - 参加希望者に、会の補助が有る旨を説明し、無断欠席の無いよう念押しする
 - チケット入手後にキャンセルする場合は友人に譲る等

2. 審議事項

(1) 今後の事業の企画、準備

1) 文楽鑑賞教室

- ・ 9 月 20 日(金)に 40 名(学生 35 引率者 5)の参加定員で実施する。
- ・ 新国立劇場小劇場 18:00 開演(会場は 30 分前)
- ・ 事前学習会を JLC の菅長教授及び院生の協力で 9 月中旬ごろ実施する。
- ・ 募集から実施まですべて夏季休業期間中というのは初めての試みである。学生への広報方法、参加費徴収日など工夫して成功させたい。
- ・ 担当：谷、山田

2) 秋期バザー

- ・ 9 月 30 日(月)、10 月 1 日(火)実施予定
- ・ 事前の 4 日間を商品の受付期間とし、外語会等に協力を依頼する。
- ・ 退寮する留学生からの日用品提供は、今のところゴミ等混ざることなく秩序を持って行われている。連絡室閉室後の乱れが懸念されるが、その都度整理するよう努力する。

3) 鎌倉散策

- ・ 例年お世話になっている鎌倉ウエルカムガイドは事業実施の 3 ヶ月～3 週間前に申込みが必要。
- ・ 平日は授業と重なるため、土日祝日に開催したい。
- ・ 大学祭期間前後はバザー実施のため引率幹事の確保が難しい。
- ・ オーバーツーリズムの問題が拡大傾向にあり、混雑が予想される。
- ・ 上記の事情を考慮し、11 月 9 日(土)に実施予定
- ・ 担当：野口

4) 外語祭バザー (谷)

- ・ 参加エントリーはされており、会場は 226 教室で確保されている。

- ・ 実行委員会より、使用時間、備品等の問合せが会宛に届いているが、例年と異なるので現在内容を確認中。

(2) 会費の振り込みに関して

- ・ 電子版会報配布の開始により、全会員に対し赤色のゆうちょ振込用紙（手数料を会が負担）を送付できなくなった。それにともない、一部会員（紙会報郵送の選択者）の会費振込手数料を会が負担することの意義、利点について再検討することが提起された。
→ 次回以降の幹事会で再検討する。

今後の幹事会は、 9 月 15 日（日） 予定

佐久間 記